

「新広域ごみ処理施設整備・運営事業」落札者を決定しました

組合では、昨今、公共施設・インフラ更新対応が社会的課題となる中、国・県の広域化指針等や人口減少の社会背景を踏まえ、石岡市、小美玉市、かすみがうら市、茨城町の4市町におけるごみ処理広域化（現有敷地内への新施設整備）を進めています。

昨年度、新広域ごみ処理施設整備運営事業者を公募（総合評価一般競争入札）し、優秀事業者の選定に関して諮問していた新処理施設事業者選定委員会の答申を受けて、この度、落札者を決定しました。

今後、組合議会の審議を経たうえで本契約を締結し、本事業の着実な進展を目指していきます。

■入札結果

- ・落札者：代表企業 日立造船 株式会社
- ・入札金額：270 億円（税抜）落札率 86.0%
- ※うち設計建設分 153 億円、運営 20 年分 117 億円（税抜）

★処理規模1tあたり建設費（焼却施設）は、近年の契約事例（全国平均）を大きく下回り、また、運営費でも現3施設の集約によるコスト削減効果が明確になりました



★国の入札・契約適正化ガイドラインの策定委員でもある荒井委員長（右）から、今泉管理者（左）に答申

■契約までの流れ（予定）

委員会答申	7/25	ウェブ サイト公表
落札者公表	8/3	同上
仮契約締結	9月中旬	
組合議会臨時会	9月下旬	契約議案審議

※組合では、落札者との事前の契約協議を踏まえ仮契約し、議会の議決をもって本契約を締結します

■今後の事業スケジュール（予定）

2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	～	2040 (H52)
契約	設計 ※土地造成等	建設	※試運転	運転（20年）			

周辺の環境負荷、住民の税負担を減らし、地域に愛され信頼される施設を目指します

■新施設イメージ図



★地域との調和も主要項目として評価され、地域の集会所として、また災害時の避難活用も期待されます

■施設緒元

建築面積	7,380 m ²
延床面積	12,927 m ²
施設規模	ごみ焼却施設：215t（107.5t/24h × 2炉） リサイクルセンター：破砕設備：20t/日（5h） 選別設備：2t/日（5h） ストックヤード：保管のみ
処理方式	全連続焼却式ストーカ方式
発電設備	発電効率 15%以上（国交付金要件）

★新施設では、焼却発電によりこれまでは無かった売電収入が得られ、運営時の住民負担の軽減に寄与します

■排ガス基準

項目	基準値	単位
ばいじん	0.01	g/m ³ N
塩化水素	50	mg/m ³ N
硫黄酸化物	30	ppm
窒素酸化物	50	ppm
一酸化炭素	30(4h 平均値)	ppm
ダイオキシン類	0.1	ng-TEQ/m ³ N
水銀	30	μg/m ³ N

（表中の値は、全て酸素濃度 12%換算値）

★新施設では、新技術の進展や厳しい自主基準を採用しこれまでより地域への環境負荷の低減が期待できます

※施設緒元や排ガス基準等は、組合が示す最低要件や入札における事業者の提案内容等を踏まえ、今後、実施設計時に関係機関も交え協議していきます

【事務局】霞台厚生施設組合 建設計画課（Tel 0299-56-7773）
～ 組合ウェブサイト (<http://kasumidai.or.jp/>) をご覧ください ～